

岩手県立高田高等学校 広報



令和5年度第2号

八重の汐

技 訓
至 誠
錬 磨
創 造

文責：副校長 佐々木直人



ZOOMで立教大生と話をしています



**立教大学の皆さんとの
高大連携が始まります**
二年生二・三組の総合的な探究の時間において、T×Action PROJ ECTの一環として、高大連携による地域探究の授業が始まりました。
これは、立教大学の先生や学生さん方との合同学習会で、オンラインで準備を進めて、八月下旬には、立教大学生が陸前高田を訪れて、三泊四日をかけて本校生徒とフィールドワ



高田松原の草刈り作業
五月一日(火)、二年一・四組、三年一・四組の約百名が、「高田松原を守る会」の方々の指導の下、高田松原再生活動に参加しました。これまで東日本大震災で流出した約七万

本マツの再生活動が進められてきました。令和三年には本校生徒も植樹に参加し、その後も雑草取りを続けています。現在の生徒は、子供の頃に高田松原で遊んだ記憶があるからかという世代です。自分の子供や孫が高田松原で遊ぶ姿を想像しながら作業したのでしようか。
五月一日(火)の三・四時間目に、今年度最初のリモートでの合同学習会が実施され、自己紹介やテーマ決定に向けての話合いが行われました。総合的な探究の授業では、これから九月まで、テーマごとにグループに分かれて陸前高田市の地域課題を解決する方策を考えていきます。その成果を九月上旬に発表する予定です。

避難訓練が実施されました
五月二四日(水)、避難訓練が実施されました。今回は、陸前高田市消防署の消防士さんの指導の下、三年生については、教室に煙を吹き、部屋の中の煙を体験しながら避難をしました。普段は広い階段ですが、防火扉が閉まり、通用



本マツの再生活動が進められてきました。令和三年には本校生徒も植樹に参加し、その後も雑草取りを続けています。現在の生徒は、子供の頃に高田松原で遊んだ記憶があるからかという世代です。自分の子供や孫が高田松原で遊ぶ姿を想像しながら作業したのでしようか。



防火扉の通用口から避難しています

口から脱出します。扉の下が少し高さがあり足をぶつけて躓きそうになりました。三年生が煙の体験をしながらの避難でしたが、その割に集合時間が早く、消防士さんからは褒めの言葉をいただきました。

東日本大震災津波伝承館見学
五月一日(火)三・四校時、三年二・三組の生徒約六〇名が市内にある東日本大震災津波伝承館を見学しました。沿岸に住んでいるからこそ震災に関する学習を控えてきたという事情もある中で、来年から地元を離れる生徒が多くなる高校三年生のこの時期に体系的に震災について学習することが目的です。



本校の公式ホームページにアクセスするQRコード



noteにおける本校のページにアクセスするQRコード



当日は、ガイドさんからの説明を受けながらの見学となりました。高校三年生の皆さんは、五歳位の頃の話です。初めて知ったことも多いと思います。